

今月の『一読あれ』

読書の秋を満喫する！



秋といえば、読書の秋。本を読むことといっても、興味の持ち方は人によって様々。本を読む雰囲気を感じたい人、他の人の読んでいるおすすめを知りたい人、どんな風に読めばいいのか知りたい人などなど。今回はそんな本への興味を刺激し、読書の秋を満喫できそうな本を集めてみました。

本のある景色

『世界の夢の本屋さん 1, 2』清水玲奈著 024/Se22/1, 2 2F和図書A
世界の個性豊かな書店を紹介する写真集。店員のインタビューでは、本屋で働くことになった経緯も語られています。

『おかしな本棚』クラフト・エヴィング商会著 019/Ku51 2F和図書A
並ぶ本の背表紙からうかがえる特有の気配。装幀家・文筆家による、少し変わった本。

他の人の本棚から

『野蛮な読書』平松洋子著 019/H65 2F和図書A
食のエッセイストである著者の読書記録。読むことが暮らしの一部になっている様子が伝わります。第28回講談社エッセイ賞受賞作。

『嵐の夜の読書』池澤夏樹著 019/I35 2F和図書A
1999年から9.11を含む激動の10年間に小説家によって書かれ、毎日新聞に掲載された書評集。

『本へのとびら』宮崎駿著 019.5/Mi88 2F小型本（岩波新書）
アニメーション映画監督の著者が、少年のころに読み親しんだ本を紹介。次の世代への考えも語られています。

『本と私』鶴見俊輔編 019/Ts85 2F小型本（岩波新書）
19人が語る、それぞれの本の思い出。岩波書店90周年記念に集まった原稿の入選作。

読書術・読書論

『喰らう読書術：一番おもしろい本の読み方』荒俣宏著 019/A64 2F小型本
「読書は『精神の食事』」という著者が開陳する、人生をおもしろくさせるための読書術。

『遅読のすすめ』山村修著 019/Y32 2F和図書A
速読・多読ではなく、あえて本をゆっくりと読む。そんな読書方法の魅力とは。

『ヘッセの読書術』ヘルマン・ヘッセ著 019/H53 2F和図書A
文豪・ヘッセによる、本とのつきあい方。エッセイなので読みやすいです。

『読書について』ショウペンハウエル著 134.6/Sc6 2F和図書A
「読書は、他人にものを考えてもらうことである。」哲学者の読書にまつわる鋭い考察。



3F中央ホールで展示中！ 貸出できます